

田伯平赴日书展作品集

北京工艺美术出版社

J292.28
T604:1

J292.28
T604:1

田伯平赴日书展作品集

北京工艺美术出版社

图书在版编目 (CIP)数据

田伯平赴日书展作品集 / 田伯平书. — 北京: 北京工艺美术出版社,
1998.6

ISBN 7-80526-336-1

I . 田… II . 田… III . 汉字—书法—中国—现代 IV . J292.28

中国版本图书馆 CIP 数据核字(98)第 14912 号

责任编辑: 贾德江

电脑制作: 张东松

田伯平赴日书展作品集

田伯平书

北京工艺美术出版社出版发行

(地址: 北京市朝阳区惠新东街 8 号

邮政编码: 100029 电话: 64984927)

全国新华书店经销

北京新华彩印厂印刷

1998 年 6 月第 1 版 第 1 次印刷

开本: 787 × 1092 1/16 印张: 4

印数: 1—3000 册

ISBN 7-80526-336-1/J · 161 定价: 48.00 元





田伯平，男，1957年生于河北省白洋淀畔。一个书香门第的家庭，陶冶了他舞文弄墨的性情。七岁时，他就随外祖父田普亭先生学习国画与书法。十四年的欧体楷书给他打下了良好的基础，后又研习了王羲之、赵孟頫、唐伯虎等名家行书，使他的书法艺术日臻完善，取得了优异的成绩。中央电视台、北京电视台的许多字幕均出自他的手。

田伯平现为北京广播电视报社美术编辑、中国书法家协会会员、北京市书法家协会会员、中国安阳书画院画师、中国工艺美术学院展示协会会员、中国书画社研究员、中国文艺人才研究会会员、广播电影电视部美术家协会理事、华夏文化艺术海外联合会副会长、在日中国书画家联盟顾问、日本日中水墨画协会书法讲师。

田伯平的书法以雅儒书卷气为上，以端庄、秀丽、清美、潇洒书风为主。由于工作性质决定，他以曲高和众、让内行与外行都能认可为妙。

近年来他崭露头角，1979、1982年均获市书展伯奖；他书写的电视剧片头“中国武夷行”，在中央电视台播出后，受到中外人士的盛赞。

1989、1990年他分别为宋庆龄基金会、第十一届亚运会各捐赠书法精品40幅，得到了有关人士的好评，为他颁发了邓小平、康克清签署的荣誉证书。王任重同志为他题写了“挥毫泼墨，陶冶情操”，刘澜涛先生题写了“精益求精，繁荣祖国传统文化”，杨静仁先生题写了“有容乃大，无欲则刚”，中国书协主席启功先生写下了“中华儿女多奇志”，欧阳中石先生写下了“天开云雾东南碧，日射波涛上下红”以示祝贺；人民日报、中国青年报、中国日报、北京青年报等都发表了题为《中华儿女多奇志》、《墨海弄潮》、《以书法展示美》等专访。我们祝愿此次海外巡回展获得圆满成功，愿这位年轻人，再接再厉，取得更大的进步。

会当凌绝顶，一览众山小。

Mr. Tian bo Ping was born at the Bai Yang Dian Lake, Hebie, in 1957. He went to the Department of Chinese painting and calligraphy, Hebei Arts School, where he followed Mr. Tian Pu Ting, his grandfather. Under his grandfather's tutorship, he made rapid progress.

At present, he works as an art editor of Beijing Broadcast and Television News. He is also a member of China calligraphers' Association, Beijing calligraphers' Association, China poetry Association, China Artist Studies Association and China Industrial Designing Association.

Elegance and purity is reflected in his style. In his childhood, Mr. Tian imitate "Huangpujunbei" and "Jiuchengong" by Mr. Ourang Xun and afterwards, he followed Mr. Wang Xi Zhi, Zhao Meng Fu, Tang Bo Huy, Zhao Zhi Qian and other masters. He succeeded in both following ancient master and adopting the new style.

Recently, he started to establish his reputation. In 1979, he won a Beijing city exhibition prize and the title of TV program of "Travel to Wuyi, China" received high compliment after the program was shown on CCTV. Last year, he was involved in the editing of China dictionary of calligraphy and the copying poems by thousand of poets in four style of handing. Currently, he is launching a new research of the points & lines and the white & black colours of Chinese calligraphy. Last year, he also made donation of 40 selected peices of his works to Asian Games and Madame song Qing Ling Foundation. His efforts were appreciated by various circles and awarded the certificate of honor by the honorable chairman, Mr. Deng Xiao Ping, and the chairwomen, Madam Kang Ke Qing. The Chairman of China Calligraphers, Association Mr. Qigong, congratulated him respectively by and Mr. Ourang Zhong Shi "The ambitious Chinese young generation" and "Southern east dean after clouds, water and book red under sun".

We sincerely wish the young man will have bright future and rapid development.

田伯平氏は1957年中国河北省白洋淀にある書香門第で出身し、書香門第家族の雰囲気の中で成長している。田さんは幼い時代から書道に夢中になっています。7才時お爺さん田普亭先生の指導もとで中国水墨山水絵と書道を勉強され、それで、中国水墨山水絵と書道に対して深い興味を養成されていました。14年間欧陽修の楷体を学ぶ工夫とは以降王羲之、趙孟頫、唐伯虎などの名家の行書体の特徴を身につけるためによい基礎をして置きます。かれの書道一層より完璧になり。すばらしい成績をとりました。特別近年来レベルよりより上達になり、中国中央TV、北京TVの画面に田さん書いたサブタイトルがよく出てます。

今の田伯平氏は「北京放送テレビ新聞会社」に美術ジャーナリストとしてつとめます。それから彼はまた、中国書道家協会会員、北京書道家協会会員、中国安陽画院の画師、中国工芸美術デザイン展示協会会員、中国書画社研究員、中国文芸人材研究会会員をとして中国書画と工芸美術の分野で活躍されます。

彼の字体は洗練秀麗で、行雲流水に如き、書風は典雅瀟灑で雅俗共賞するという評判があります。

彼の書道は書道分野の名人から好い評判を得て、そして、全国人民代表大会常務委員会副委員長王仁重が「揮毫洒墨、陶冶情操」の条幅を、中国書道家協会主席啓功先生わざわざかれに「中華儿女多奇志」の条幅を田伯平に書いてあげました。

田伯平氏は1989年、1990年それぞれ宋慶齡基金金に、第11回アジア運動会のために書道精品が40枚ずつ捐獻してありました。これで鄧小平、康克清旬らの署名された名譽書を受取ました。

序

中国驻日本大使馆文化参赞 耿墨学

与田伯平相识带有戏剧性色彩。

那是1996年的秋天，在日本东京的日中友好会馆，《中国巨龙报》社长孔健带来一位小伙子，说明年要在日中友好美术馆搞个人书法展。由于我对书法也相当热爱就相互攀谈起来，谈话中田伯平问我是什么地方的人，我说是河北人，田伯平说他也是河北人；“你是河北什么地方的？”我说是河北雄县的，田伯平说他也是雄县的；“你是雄县什么地方的？”我说是雄县咎岗的，田伯平说他也是咎岗的，真是他乡遇故知。在日本的东京，能邂逅连中国地图中都找不到那小村庄的老乡，真是太巧了。于是我们谈起了村头的老槐树，那块不知多少年的大石碑……从我们村里走出来的“杨子荣”——电影演员王润身、人艺的院长刘锦云……

谈笑间我们成了朋友，真是一见如故。田伯平字如其人，洒脱。在日展出他的篆、隶、真、行、草各种书体及唐诗、宋词各种内容的作品52幅，赢得了日本各书道界的赞誉。日本书道权威杂志——《日本书道艺术杂志》称田伯平为“中国书法界的俊英”，小林斗盦先生亲自到展览会祝贺，各流派书道会领袖纷纷而至，田伯平当场为他们作诗并书：

富士山高长城长，一衣带水两相望。

几缕丹霞横碧汉，东出红日上扶桑。

他的诗情书艺博得阵阵掌声，展出获得了圆满成功。

该书中的作品我都见过，有的已经用各种方式送给了日本朋友，但愿它能把读者和喜欢书法的朋友们带回到展出时热烈的场面，如同看展览一样欣赏田伯平那不同风格的书法作品。

田伯平刚届不惑之年，艺术之路还很长，很有前途。希望他再接再厉，更上一层楼。

1998年元月于东京

序

日本駐在中国大使館文化参事官 耿 墨学

田伯平との知り合いは劇的な色彩を帯びている。

それは、1996年の秋のことであった。『中国巨竜』新聞社社長の孔健が一人の友達を日本東京にある日中友好会館に連れてきて、来年日中友好美術館で個人展を開くということを言い出した。その友達は田伯平であった。書法にも大変興味を持っている私は、田伯平と雑談にあがった。お国はどこですかと聞かれ、河北省の雄県ですと答えた。彼も河北省の雄県に生まれたと言ってくれた。更に雄県のどのあたりですかという質問に私は胙崗と答えると、すぐ私もという声が帰ってきた。日本の東京でさすが中国の地図でさえ見つけられないあの小さな村の人と会えるとは、夢にも思わなかった。それで、あの村のこと——村はずれのエンジュ、何年かわからないがずっと立っていたあの大きな石碑…それから「楊子榮」の役者——王潤身、人民芸術劇院の院長劉錦雲など…私達は話に花を咲かせていた。

会のたばかりなのに、雑談しているうちに、私達はもう古い友達になったような気がした。田伯平の字は文字どおり洒脱である。日本で展示された篆、隸、真、行、草などの書体及び唐詩、宋詞がかかれた52幅の作品は日本書道界に高く評価された。日本書道界において権威のある雑誌『日本書道芸術』に「中国書法界の俊才」と呼ばれ、小林斗盦先生も自ら展示場まで祝賀の意を表した。各流派のリーダーも次々とつめかけてきた。田伯平はその場で即座に詩を作り、書き写しもした。

富士山高く長城長し、
一衣帯水向かい合い、
微かなる霞青空を横断し、
東より出る日扶桑へ上がる。

彼の詩と書はひとしきりの拍手を獲得し、個人展も円満な成果をおさめた。この本にある田伯平の作品を全部拝見したが、そのうち、日本の友人に贈る作品も少なくなかった。読者の皆さまや書法の好きな友達がそれらの作品に個人展当時の熱烈な雰囲気に入れられたらと祈っている。

田伯平は不惑の年になったばかりだし、見込みもある。彼にとって、芸術への道はまだまだ長い。ますます努力して、優れた成績を勝ち取るように私は期待している。

1998年一月東京にて

賀伯平東京書展

書法通神

丁丑年初冬高占祥

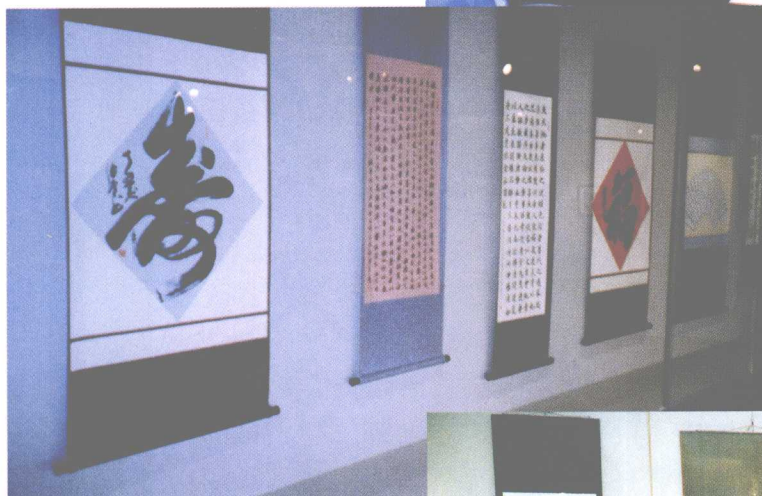


中国文联副主席、党组书记 高占祥为田伯平题辞

田伯平为日本朋友
当场挥毫



部分展出作品



田伯平与日本书法
界人士在一起



田伯平与日本著名书法
篆刻泰斗小林斗盦、中
国驻日本大使馆文化参
赞耿墨学在一起



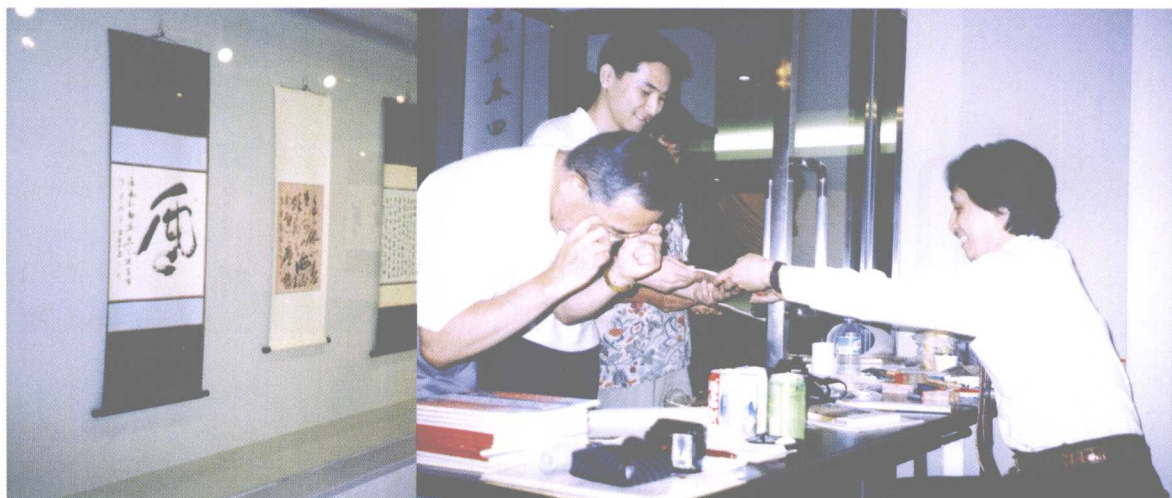


部分展出作品

田伯平为日本朋友当场书写六尺作品



日本朋友在欣赏作品
田伯平为日本朋友签字售书





田伯平与日本松户书道会会长（中）大角凡澈先生



田伯平当场书写象征吉祥的福字

田伯平与日本妇人书道爱好者在一起



左起为中国驻日本大使馆文化参赞耿墨学先生、日本国际书道学院院长福成正子及丈夫、中国书协副主席刘炳森先生



应松户书道会邀请田伯平在书道会装裱车间书写“书道一家春秋”以示祝贺



目录

1. 楷书 春夜宴桃李园序	25. 行书 龙门尽揽山阴趣
2. 行书 鹅	26. 行书 赵孟頫 闲居赋节录
3. 行草 论书	27. 草书 风
4. 草书 白日依山尽	28. 隶书 落雨风虹
5. 行书 梦魂	29. 行书 白鹤游云
6. 草书 江城如画里	30. 行书 一笔寿
7. 魏书 郎气如春景风暄	31. 草书 兰陵美酒郁金香
8. 草书 苏轼 水调歌头	32. 行书 杜甫 诗二首
9. 隶书 江天静处清风穆	33. 行书 望云
10. 行书 书道	34. 草书 张继 枫桥夜泊
11. 草书 朱鹊桥边野草花	35. 行书 唯德天道
12. 楷书 周敦颐 爱莲说	36. 隶书 雪诗黄鹤
13. 行书 芳草春回依旧绿	37. 行书 鹤舞
14. 行书 室雅何须大	38. 草书 鹅
15. 行书 竹影荷香	39. 行书 诗以奇趣为宗
16. 楷书 心清自得诗书味	40. 行书 佛
17. 行书 一期一会	41. 篆书 夜泊江门外
18. 篆书 柳暗花明	42. 行书 观海
19. 行书 惊涛	43. 行书 山静兰初放
20. 行书 宠辱不惊看庭前花开花落	44. 行书 周敦颐 爱莲说
21. 魏书 爱窗明松 花泛兰香	45. 行书 一衣带水
22. 草书 日照香炉生紫烟	46. 行书 范仲淹 岳阳楼记节录
23. 行书 春宵一刻值千金	47. 行书 听涛
24. 行书 兰花香 樱花红	48. 书法家田伯平常用印章

伯平赴日书展作品集

夫天地者萬物之逆類光陰者百代之過客而
 浮生若夢為懽幾何古人秉燭夜遊良有以也
 況陽春台我以煙景大塊假豕以文章會桃李
 之芳園序天倫之樂事群季俊秀皆為惠連吾
 人詠歌獨漸康樂幽賞未已高談轉清開瓊筵
 以坐花乘羽觴而醉月不有佳作何伸雅懷如
 詩不成罰依盃谷酒數

丁巳年春
 東太王
 伯平於北京



鹅



山陰道

士如相

是應寫

黃庭換白鵝
丙子夏

月伯平書於北京



伯平赴日书展作品集

书之妙道神妙为上形质
 海之集之在方可始於古
 以斯言之其意易得必深
 忘於字年忘於心年遂快
 书已忘想是谓求之不得
 放之即新至矣日伯平书王僧虔印